

公益社団法人 日本青年会議所	
2020年度関東地区協議会 世界会議支援委員会	
委員長 北村 麻里衣	
現 状 分 析	訪日外国人数が3,000万人を記録し、地域の経済成長への寄与が期待される中、首都圏においてはインバウンド需要に格差が生まれています。これは、英語でのコミュニケーション等の環境整備や、魅力的な情報発信が不足しているためだと考えられます。国際青年経済人団体として、海外メンバーとの親密な交流を促進することで、国際の場をビジネスの機会として積極的に活用し、首都圏の経済に還元できる人材を育成することが求められます。
目指すべき状態	<ul style="list-style-type: none"> ■海外企業との交流が活発化し、国際ビジネスの創出ができてきている状態。 ■外国人との交流の機会が定期的に生まれ、国際的なリーダーが輩出されている状態。 ■関東地区各LOMにおいて、国際的連携に結びつく世界との友情が育まれている状態。 ■関東地区各LOMの魅力が継続的に発信され、インバウンド需要が増加している状態。
連 携 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ■国際の機会創出事業の実施 国際経済人団体であるJCのネットワークを活用し、海外NOM、特にアジア各国のメンバーとの親密なコミュニケーションを図ることで、国際的経済感覚を持った人材が生まれます。関東地区各LOMの国際化が進むことで、首都圏に国際ビジネスの需要が生まれます。また、国際感覚を持った関東地区各LOMのメンバーが、海外メンバーからの意見を元に、海外から見た地域の魅力を分析し、適切な発信を積極的に行うことで、インバウンド需要が増加し、首都圏の経済に還元されます。 ■2020世界会議横浜大会でのグローバルビレッジの開催 世界会議横浜大会における関東地区協議会のファンクションとして、グローバルビレッジの企画運営を行います。各国PRを行うステージやブース、海外メンバーとの交流スペースなど提供し、関東地区各LOMメンバーの国際意識の向上と、海外メンバーとの親密な交流を促します。また、少人数のLOMにおいても国際の機会が提供できるよう、1LOM1NOM運動を推進し、対象NOMブースの運営のサポートを促します。本事業の運営と参加を通じて海外のメンバーとの交流が深まり、国際ビジネスに結びつく世界との友情が育まれます。
S D G s	【8、9、11、17】
政 策 手 法	<ul style="list-style-type: none"> ■国際の機会創出事業の実施 1. 首都圏の経済を発展させる目的において、国際的経済感覚を醸成する必要があるため、ASPACアンコール大会において、海外メンバーとビジネスを通じた民間外交を図ることで、国際経験豊かなリーダーが輩出され、国際ビジネス創出の機会となります。 2. インバウンド需要の地域格差について海外ニーズの把握と発信の不足が指摘されるため、海外メンバーとの交流を促進し、海外から見た関東地区各LOMの魅力を発信することで、関東地区ブランドを確立し、インバウンド需要の増加を促します。 ■2020世界会議横浜大会でのグローバルビレッジの開催 1. 海外からのビジネス需要を高めるには、国際的経済感覚の醸成が必要であるため、世界会議横浜大会におけるグローバルビレッジの運営を主管し、企画運営することで、メンバーの国際感覚を養う機会となります。 2. 海外からのビジネス需要を維持するためには、国際的な人脈形成が必要であるため、各国ブースの運営サポートや、海外メンバーとの交流企画への参加を促すことで、各国とのより親密な関係の確立となります。
パ ー ト ナ ー	外務省【後援】、各国大使館【協力】、各国商工会議所【協力】、地方公共団体【協力】 各国NOM【協力】、日本JC国際ビジネス推進会議【協力】 埼玉ブロック協議会アカデミー研修委員会【協力】